

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
集合参加形式の研修会開催を中止しています。

そこで今年度は各事業所の様々な医療・介護活動の
取り組みについて紹介していきたいと思います。

第1弾は
京町病院です♪

【患者様・スタッフ双方に負担の少ない移乗動作】

★2020年度、「患者様に負担をかけることなく安心・安全に移乗動作が行えるようにできる」を前提に

1. 移乗動作時の患者様負担軽減（アクシデントゼロ、インシデント件数低下）
2. スタッフの介助量軽減（腰痛軽減）を目標に、

リハビリテーション科では「道具を用いた移乗動作」の取り組みを継続しています。

★「移乗動作学習会」の一環として年間計画に沿った学習会や、

客観的指標としてチェックシートを用いてスタッフ相互に評価する OJT の取り組みなどを行っています。

★「患者様に負担をかけることなく安心・安全に移乗動作が行えるようにできる」、

またスタッフの介助量軽減を行うことにより**多くの患者様の笑顔**を引き出していきます。



トランスファーボード



ハートグローブ

【退院に向けての科内カンファレンス】

入院後早期に、入院前と現在の ADL 能力の違い、入院に至った経緯を検証することで、再発予防について考え、多職種に発信できるように、科内カンファレンスをおこなっています。



患者様が自宅復帰の意思表示をされてから1週間以内に「家庭訪問計画書」に基づいて、患者様の退院後の生活イメージを具体化します。そして、その実現のためにはどのような練習が必要であるか、ご家族や在宅スタッフへの介助の指導内容、介護保険サービスやインフォーマルサービスについて、科内カンファレンスで話し合った上で、家庭訪問にのぞんでいます。

家庭訪問前に問題点を焦点化しておくことで、訪問当日にご家族やケアマネをはじめとする在宅スタッフと、より具体的な支援の方法を協議することが出来ています。

また経験の異なる職員間で意見交換をすることで、在宅復帰支援の学びあいの場にもなっています。